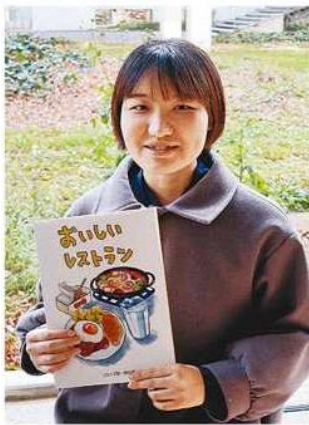


食物アレルギー伝える絵本を制作 いづか 飯塚ゆりのさん(21)



障害のある人や高齢者に伝わりやすいように配慮した作品の出来栄を競う「メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」で最高位の経済産業大臣賞に輝いた。「力を入れて作ったので、すごくうれしい」と喜びを語る。

受賞したのは食物アレルギーがテーマの絵本。料理を提供する側と食べる側の双方が気をつけるべき点を紹介した。「エビイさん」や「ソバゾー」などアレルギーを

この人

模した10人のキャラクターが登場し、重症化しやすい特定原材料や飲食店で食事する際の注意点などを分かりやすく伝えている。

制作のきっかけは、3歳年上の兄の存在だ。兄は幼少時からピーナツアレルギーがあり、出前のカレーを食べて救急車で運ばれたことも。「命に関わることなのに自分も含めてよく知らなかった」。友人ら150人にアンケートし、アレルギーに関する困り事を物語に盛り込んだ。

新潟市出身で、浜松市の静岡文化芸術大でデザインを学ぶ。現在は、高齢者が楽しめる日めくりカレンダーを制作中。「物忘れが多くなった祖母がきっかけ。小さな困り事をデザインで解決したい」と話す。

(木谷孝洋)